

平成24年度
事業報告書

社会福祉法人
名張市社会福祉協議会

目 次

1 . 地域福祉課部門	
小地域ネットワーク事業とボランティアセンター事業の推進	1
住民とともに、人と人、人と地域、世代間をつなぐ取組みの実施	6
2 . 生活支援課部門	
権利擁護に関する支援	13
福祉資金貸付に関する支援と住宅入居保証事業の検討	17
生活保護受給者・ボーダーライン層への支援	19
3 . 介護支援課部門	
事業別取組み実績	23
事業経営管理体制の整備	30
4 . 昭和保育園部門	
事業取組み実績	32
適切な運営体制確立	33
特別保育事業、取組み実績	36
マイ保育ステーションの開設（地域の子育て支援事業の推進）	38
5 . 総務課部門	
法人運営事業	40
日本赤十字社三重県支部名張市地区事業	44
善意銀行事業	45
総合福祉センター管理運営事業	45

1. 地域福祉課部門

小地域ネットワーク事業とボランティアセンター事業の推進

1. 小地域ネットワーク事業の推進

地域担当職員（コミュニティソーシャルワーカー）の配置、各地域における福祉活動への参画と支援

地域福祉課職員 5 名（社会福祉士、介護福祉士、社会福祉主事、介護支援専門員等の有資格者）が 15 地域を担当し、活動者とともに地域福祉活動を推進するため、地域づくり組織や民生委員児童委員協議会（以下「民児協」という。）の会合・行事等をはじめとする地域活動の場へ出向き、情報収集や提供、相談や助言を通して活動支援に取り組みました。

各地域の活動者や住民からの問い合わせや相談	相談件数 96 件 / 14 地域（のべ 297 件）
住民からの様々な問い合わせや生活相談への対応	相談件数 106 件（のべ 223 件）
各地域の会合や事業等への参加・参画	会合や事業等 83 回 / 14 地域 ふれあい・いきいきサロン 34 回 / 24 サロン
地域福祉活動の紹介	サロン等各地域の福祉活動状況や様子を市社協ホームページに順次掲載し、活動の周知・啓発を実施

地域アセスメントの実施と地域別基礎データの整備

地域の福祉ニーズを明らかにするために、まず 2 地域を対象に福祉活動実践者へのヒアリングを行い、次年度基礎データの整備に向けて、地域情報収集と福祉ニーズの集約に取り掛かりました。

地域支えあい活動支援、地域支えあい活動連絡会の企画検討

名張地域での活動団体の役員会に定期的に参加し、情報提供等の活動支援を行い、比奈知地域での立ち上げにあたっては情報提供や相談支援を行いました。また、新たな地域で取組みが検討されるよう、桔梗が丘地域へのヒアリングを行いました。

地域支えあい活動団体	5 団体（内平成 24 年度活動開始 2 団体、準備 1 団体）
------------	----------------------------------

連絡会の企画にあたっては活動者への提案やヒアリングを行い、計画よりも早い時期から実施することができました。現在活動している団体から立ち上げ準備の団体までが集まり、各取組み状況等を共有し、活動の活性化につながりました。

地域支えあい活動連絡会	6 月 21 日(木)10 名 / 5 団体、 10 月 18 日(木)13 名 / 5 団体、 2 月 21 日(木)15 名 / 5 団体
-------------	---

救急医療情報キットによる安心ネットワーク事業の実施

三重県地域支え合い体制事業補助金を受け、平成 24 年度後期より取り組みました。救急医療情報キットの配布を通じて、生活や健康面に不安を抱えながら在宅生活をおくる方に対し、身近な地域での見守りから必要なサービスにつなげ、地域での安心した暮らしを支えるネットワークづくりに取り組む事業で、初年度は、協働機関である民児協や名張市との協議を重ねながら事業を組み立て、情報キットの配布から取り組みました。

また、地域づくり組織等を通じた事業周知を行いました。

利用者数	2,286 世帯・3,159 名（内、65 歳以上 2,978 名）
------	------------------------------------

申込区分内訳

ひとり暮らし	1,193 名
高齢者のみ世帯	677 世帯・1,321 名
日中ひとりになる高齢者	236 名
心身に障害のある人	79 世帯・93 名
その他救急時に不安のある人 （内、日中高齢者のみになる世帯）	144 世帯・316 名 (24 世帯・50 名)

2. ボランティアセンターにおける日常的相談・活動支援

ボランティアコーディネーターによる日常的相談・活動支援

ボランティア登録数	155 団体（のべ 3,072 人） サロン 74 団体含む 内、新規登録団体 6 団体 個人ボランティア受入登録施設 11 施設
	個人ボランティア 320 名 アドバイザー、ふれあい隊、災害ボランティア含む

相談実績（相談区分と件数）

相談区分	のべ	新規	継続	相談区分	のべ	新規	継続
ボランティア希望	118	42	104	活動支援	113	38	75
ボランティア依頼	296	48	220	保険	29	9	20
情報提供	92	40	53	職員派遣	12	2	10
情報発信	15	5	9	その他	107	37	70
				計	782	221	561

配食ボランティア団体活動実績

配食	10 団体 / 9 地域	年間配食数	18,121 食	対象者数	623 名
会食	4 団体 / 4 地域	開催日数	249 日	のべ利用者数	1,763 名

ふれあい・いきいきサロン活動実績（登録団体）

74 団体 / 14 地域	開催日数	1,806 日	のべ利用者数	42,924 名
---------------	------	---------	--------	----------

配食ボランティアグループでの検便実施に伴い、希望団体を対象に市社協にて取りまとめるなど支援を行いました。また、食事を提供するサロン等からの相談にも応じ、年間通じて検査への支援を行いました。

検便検査支援団体数	配食ボランティア 9 団体（424 名） ふれあい・いきいきサロン 2 団体（20 名）
-----------	---

ア. 地域福祉活動支援備品、ボランティアルーム・ロッカー等の貸出

ボランティア等地域福祉活動を支援するため、備品の貸出と整備を行いました。

総件数 160 件 / 実利用 41 団体			
活動種別	利用団体 / 件数	貸出備品数	貸出件数の多かった主な備品
ボランティア活動	49 団体 / 111 件	18 種 137 個	プロジェクター・スクリーン 綿菓子機

地域福祉教育	31 団体 / 32 件	11 種 141 個	カルーセロ・車イス
唄いませんか	17 団体 / 17 件	13 種 196 個	ミニ馬拉カス・鳴子

新規購入による整備	三重ボランティア基金助成：たい焼き機・かき氷機 共同募金配分金：プロジェクター・プロジェクター台・ ハンズフリー拡声器 2 台
破損・修繕	綿菓子機用カバー（破損 2 回・利用者弁償）

ボランティア活動の拠点として、ボランティアルームと一時保管のためのロッカーの貸出により支援を行いました。

ボランティアルーム	18 団体のべ 478 件（4,144 名）	ロッカー	16 団体
-----------	------------------------	------	-------

イ．ボランティア活動保険・行事用保険等の加入手続き

安心して活動ができるための基礎環境の整備としてボランティア活動保険をはじめとした全社協補償制度の加入促進を図りました。

保険の種類	加入件数	加入団体数
活動保険	862 名	29 団体 628 名・個人 234 名
行事用保険	30 件	14 団体 1,683 名
福祉サービス総合補償	1 件	1 団体 活動従事者 35 名・前年度のべ 121 名
事故対応件数	活動保険 / 傷害事故 1 件	

ウ．三重県視覚障害者福祉大会「あいふえすた in なばり」実行委員会への参画並びにボランティアコーディネート

参加者との交流と安全な大会運営のため、公募によるボランティアや民生委員児童委員、関係団体等の協力を得て実施しました。

協力ボランティア数	10月3日(水)事前講習	参加 22 名
	10月4日(木)大会	参加 28 名

エ．ボランティア相談 Day の実施

ボランティアアドバイザーによるボランティア相談Dayを実施し、ボランティア相談窓口啓発と活動相談に取り組みました。

定例開催場所・回数	総合福祉センターふれあい（9 回）、市民活動支援センター（6 回）、サロンきずな（9 回）
その他開催場所・回数	公民館・市民センターまつり（6 箇所・7 回）
のべ相談者数	定例 4 名、その他 1 名、計 5 名

オ．災害ボランティア支援センター

ボランティアセンター業務の一環として、災害ボランティアに関する相談支援を行いました。

登録者数	24 名
支援内容	ホームページや掲示板による情報収集・発信 被災地への手作り品寄贈のコーディネート（2 件）

個別の生活支援コーディネート

実相談件数	13件
コーディネート結果	協力可能8件、相談キャンセル2件、協力不可3件

3. ボランティア等人材育成

人材育成

ア. 「生活支援員養成&ボランティアスキルアップ研修」の生活支援課との協働実施

多様化する地域の生活ニーズに対応するための個別生活支援等に対する基礎知識や技術を習得し、ボランティア活動の充実を図るため、生活支援員養成カリキュラムに沿って開催しました。

開催日・内容	10月22日(月)～12月13日(木)全5回9科目(内、ボランティアスキルアップ研修としての選択6科目)
受講者数	30名(内、生活支援員研修25名・ボランティア研修5名)

イ. ボランティアリーダー研修会の開催

「生活支援員養成&ボランティアスキルアップ研修」受講者と、ボランティア活動団体のリーダー並びにリーダー候補者を対象に、円滑なグループ運営につなげるための研修を開催しました。

開催日・内容	3月7日(木)「思いが伝わる話し方講座」
受講者数	47名/31団体、生活支援員養成受講者14名 計61名

ウ. 三重県社会福祉協議会主催「シニアボランティアセミナー」開催協力

概ね60歳以上の県民を対象に、健康づくりや生きがいづくりを推進しボランティア活動を醸成することを目的としたセミナーが名張市で開催されるに伴い、参加者募集から運営補助に取り組みました。

開催日・内容	2月7日(木)～3月13日(水)全5回
受講者数	26名(内、名張市在住24名)

エ. 出前講座・研修会の実施

依頼に応じて職員が出向き、講話やレクリエーション等を行いました。

依頼団体	日時	講話内容
こども支援センターかがやき	5月18日	ボランティアとは
猪田小 PTA	6月8日	東日本大震災における現地での活動から「今自分にできること」
川西・梅が丘地域づくり委員会	6月16日	夏祭りでのバルーンアート
青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会	8月9日	防災フェスタでの高齢者疑似体験
中央ゆめづくり協議会	12月15日	クリスマス会でのバルーンアート
蔵持地区まちづくり委員会	1月16日	蔵持地域からみる地域福祉
ふれあい・いきいきサロン (7サロン/2地域)	7回	レクリエーション

オ．各地域に求められる人材育成の地域との共同企画の検討

地域支えあい活動連絡会において、各地域の活動に求められるスキルと担い手養成に関して検討を行いました。

4．ボランティアセンター運営委員会の設置準備

ボランティアセンター運営委員会の設置準備

運営委員会設置に向け、ボランティアセンター機能の必要性や運営委員会の具体的な機能等を確認するため、2か所へ視察を行いました。

東員町ボランティア市民活動支援センター	5月15日 市社協3名
はんだまちづくりひろば	2月25日 市社協・名張市7名

5．関係団体、機関等との連携

地域づくり組織、民生委員児童委員、まちの保健室等地域活動者との連携

市民児協連合会と市社協との連携を密にするため、事務局長が理事会へ出席するとともに、地域福祉事業啓発並びに案内・協力依頼を行いました。

地域づくり組織に対しては、地域担当職員を通じた福祉部会等の福祉実践者との連携をはじめ、第2次地域福祉活動計画の説明や共同募金への協力依頼、救急医療情報キットによる安心ネットワーク事業について、15地域の各会合にて周知を図りました。

まちの保健室とは地域担当職員を中心に随時情報共有や連絡等を行い、連携に努めました。

ボランティア連絡協議会との連携

ボランティア団体同士のつながりづくりと事業実施を通じて、ボランティア活動の啓発や発展に向けて取り組む連絡協議会と連携を密にするため、定例会や役員会等へ出席し、情報共有や意見交換、活動支援を行いました。

連絡協議会加入団体数	18団体
------------	------

第21回全国ボランティアフェスティバルみえへの参画

実行委員や運営スタッフとして参画し、また参加者を募って全国の活動者同士の交流や研修の機会としました。

開催日	9月29日(土)・30日(日)
参加人数	9団体17名(のべ19名) ボランティア連絡協議会10名(のべ14名)

三重ボランティア基金との連携

ボランティア団体への助成事業案内並びに申請支援のほか、市社協窓口に募金箱を設置し、基金事業への協力に取り組みました。

助成事業	ボランティア団体基盤強化助成 申請0件
	ボランティアセンター基盤強化助成 助成額163,000円 購入備品(たい焼き機、かき氷機)
募金箱設置	市社協窓口に募金箱設置(通年) 募金合計額 716円

6. その他地域福祉活動推進に必要な取組み

地域福祉活動計画の推進

地域福祉活動計画事業評価シートに基づき、地域福祉活動計画推進委員会において、進捗状況の確認並びに次年度に向けた意見等の聴取を行いました。

推進委員会	3月12日(火) 推進委員5名
-------	-----------------

住民とともに、人と人、人と地域、世代間をつなぐ取組みの実施

1. 地域福祉活動を多くの住民に広く知ってもらうための広報啓発活動

地域福祉活動情報紙「なばりんく」の発行、学級掲示による中学・高校生への広報・啓発

発行回数	7～12(年6回)奇数月1日発行
部数・設置場所	7～10 1,150部・39か所、 11・12 1,220部・40か所
中学・高校への啓発	福祉協力校(高校1校、高専1校)へ毎号送付 中学校へは 10よりクラス掲示依頼(72クラス)

子ども版「なばりんく」の発行、小学校への学級掲示

「なばりんく」掲載の中から子どもたちに知らせたい地域活動を取り上げた子ども版を作成し、小学校へクラス掲示を依頼しました。

発行・掲示	10月創刊号発行、小学校クラス掲示(205クラス)
-------	---------------------------

2. 20代から40代の世代の人が参加したい(しやすい)活動づくり

働きながら子育てをしている保護者を対象に、参加しやすい事業の企画・実施のためのアンケート実施

昭和保育園園児の保護者を対象に、参加したいと思われる事業や時期、また共同募金運動や社協の認知状況を尋ねるアンケートを実施しました。

対象世帯・回答数	2月実施 対象117世帯、回答20世帯
----------	---------------------

3. 理解と協力の輪を広げるための福祉教育の実施

小・中学校の総合学習の時間や企業等に、高齢者・障害者・妊産婦等について学習できるメニューの提供

福祉教育相談

体験教材等貸出	福祉体験等講師派遣	福祉ビデオ貸出
10件	1件	1件

4. 子どもたちがボランティア活動に気軽に参加できるきっかけづくり

小中学生を対象に、参加者募集や活動の様子を掲載した「ふれあいだより」の発行、学級掲示による啓発

発行回数	19～21(年3回)7月・12月・1月発行
設置場所	ふれあい隊登録の子ども、 21は小中学校へのクラス掲示依頼
内容	ふれあい活動等への参加者募集、活動報告

赤い羽根共同募金について、学校（児童・生徒）を対象に啓発メニューの提供
各学校の取組み状況を把握し、啓発の出前講座の実施に向け、福祉協力校を対象にアンケートを実施しました。

対象	福祉協力校 24 校（小学校 17 校、中学校 5 校、高校・高専 2 校）
----	--

「親子でパン作りを楽しもう」の開催

「子どもなんでも体験団」事業として、名張市青少年育成市民会議との共催により「親子でパン作りを楽しもう」を開催しました。親子を対象としたことから低学年の子どもも参加でき、初めての施設で利用者や支援ボランティアとの交流ができました。

開催日・場所	12月1日(土) サンフラワー名張ファクトリー
参加者数	親子7組(大人7名、子ども11名)

5. 子どもたちのボランティア活動への参加機会の拡充

子どもたちのボランティア活動（ふれあい隊活動）機会の充実

ボランティア団体への参加や施設での交流活動のほか、平成 24 年度はイベントでの共同募金運動啓発を活動の機会として増やしました。

ふれあい隊登録	36 名（小学生 22 名、中学生 12 名、高校生 2 名）内、新規 25 名
参加活動	メニュー5種10日間/活動参加15名(のべ31名)

6. 高齢者や障害者、子育て中の親子等が音楽を通じて交流できる場の提供

「みんなでいっしょに唄いませんか」参加対象の拡大

平成 24 年度は、高齢者に限らず障害者や子育て中の親子など参加対象を広げて実施しました。

高齢者	4 回（4・6・10・1 月）	175 名（内、初参加 13 名）
子育て中の親子	3 回（8・12・3 月）	113 名（内、幼児 14 名、30 代 6 名）
市内在住者	5 回（5・7・9・11・2 月）	141 名（内、初参加 28 名） 内地域開催 2 回（国津・梅が丘）

7. 子育て中の親子同士の交流の場の提供

おもちゃ図書館周知のための啓発強化

おもちゃ図書館利用者数

開館日数	200 日
利用者数	1,633 名（大人 690 名、子ども 943 名）初来館 74 組
おもちゃ整備	5 種 23 点（共同募金配分金により購入）

ア．障害のある子どもとその親の利用促進のための、昭和保育園、団体、関係機関等との連携

障害のある子どもたちの利用を促進するため、関係機関をはじめ小児科医院へチラシ配布やポスター掲示を依頼しました。また、「トイボックス」として開館しました。

トイボックス	3月2日(土) 利用者5名(大人2名、子ども3名) ボランティア・協力機関・団体5名
児童相談等や障害児保育に取り組む昭和保育園に図書館の場の提供を行いました。	
児童相談等	34名(大人17名、児童14名、幼児3名)
昭和保育園	754名(保育士134名、1・2歳児356名、3～5歳児264名)

子育て支援ボランティアとの連携による交流の機会の提供

ア．土曜日「おもちゃばこ」の定期開館、ボランティアによる定期行事

おもちゃばこ	年6回 利用者54名(大人24名、子ども30名) 初来館5組 ボランティア14名
おり紙で遊ぼう	年6回 参加者43名(大人15名、子ども28名) ボランティア3名(のべ13名)

子育てサロン等での移動おもちゃ図書館の実施

平成24年度より、おもちゃ図書館の啓発と子育てサロン活動支援の一環として、職員がおもちゃを持ってサロンへ出向く「移動おもちゃ図書館」を実施しました。

子育てサロン	3サロン(実施4回)
--------	------------

8. “つながり”が途絶えないための誰もが気軽に集える居場所づくりの支援 ふれあい・いきいきサロン交流会の開催

サロンのメニューとして協力可能なボランティア団体の活動発表と、活動者同士の情報交換の場として開催しました。

日時・参加者	2月27日(水) 参加者47名/30サロン 発表団体 3団体(演奏、紙芝居)
--------	---

各地域における災害時に備えたつながりづくりへの支援

百合が丘地域で開催された「防災フェスタ」にて、災害時要援護者支援の一環として、高齢者疑似体験のコーナーを担当・協力しました。

9. 障害者と社会とのつながりづくり

障害者のボランティア活動等社会参加支援

家族会やおもちゃ図書館ボランティアの活動への参加・協力や、共同募金運動など、参加しやすい機会を設け、相談時に備えました。

10. 当事者家族の人が気軽に集える居場所づくり

巡回型介護者サロン「さくら喫茶」の内容充実実施

前年度から各地域を巡回した状況を振り返り、家族介護者の会「楓の会」とも協議をした結果、8月からは総合福祉センターふれあいに会場を固定し、「楓の会」共催での実施としました。また、コープみえよりチラシ配布や茶菓子提供等の協力を得ました。

巡回型開催	4～7月(4回・4地域) 参加者数11名
ふれあい開催	8～3月(8回) 参加者数19名

介護者同士の交流、リフレッシュの機会を増やすためのメニューの充実開催
 居宅介護支援事業所への聞き取りや「楓の会」との協議をふまえ、平成 24 年度は演芸会を取り入れ、介護者のリフレッシュと交流を図りました。

食事会	6月19日(火) 日本料理 料り喜 参加者 4名
	3月6日(水) 青蓮寺レークホテル 参加者 10名
演芸会	2月5日(火) ジャズダンスと落語 参加者 14名

11. 家族会等の活動支援

家族会等の活動支援

ア. 家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援

家族介護者の会の自立運営に対して支援を行い、活動啓発に協力しました。

イ. 精神障害者家族会「なばるの会」との連携

家族会との連携を密にするため、定例会に出席し情報提供や活動支援に取り組みました。

障害者スポーツ大会実行委員会事務局運営支援

3 障害を代表する団体が主体となり関係機関・団体等が参画して組織する「障害者スポーツ大会実行委員会」の事務局として、大会運営並びに開催支援を行いました。

実施日	10月13日(土)前日準備 参加者 49名
参加者数	10月14日(日)参加者 545名(参加者 440名、スタッフ等 105名)

三家連精神保健福祉大会実行委員会への参画

三重県精神保健福祉会主催により伊賀地域で開催されることから、実行委員会へ参画し、大会運営に取り組みました。

開催日	6月28日(木)あやま文化センター
-----	-------------------

12. 地域福祉活動が住民の理解と協力で継続できるしくみの構築

共同募金運動の展開

ア. 名張市共同募金委員会の運営

住民参画による共同募金運動の展開を図るため、三重県共同募金会とともに「名張市共同募金委員会」活動を展開しました。

運営委員会	委員 10名 開催 4回(のべ 35名)、監査 1回 監事 2名
審査委員会	委員 5名 開催 3回(のべ 14名)

イ. 共同募金運動の実施

地域づくり組織をはじめ、共同募金配分金の助成を受けて活動しているボランティア団体や関係機関・団体、そして多くの住民の参加協力のもと、共同募金運動に取り組みました。

募金の種類	実施、依頼等の内容	募金額
戸別募金	1世帯あたり 500 円の募金額を目安に、全世帯に協力を依頼	7,024,821 円

街頭募金	市内スーパー等 12 店舗にて実施 9 日間 33 店舗（内 1 日間 3 店舗は荒天のため中止） ボランティアや関係者等の協力のべ 222 名	231,937 円
学校募金	校長会を通じて、小・中学校の児童・生徒の社会福祉への理解と参加の呼びかけ（小学校 17 校、中学校 5 校）高等学校並びに高等専門学校へも協力の呼びかけ（高校 1 校・高等専門学校 1 校協力）	165,360 円
職域募金	市や小中学校をはじめ、市内の社会福祉法人や企業等の職員へ依頼（依頼 21 職域、協力 19 職域）	719,958 円
法人募金	市内の商店、旅館、工場、病院、美容院などへ依頼（依頼 198 法人、協力 86 法人）	691,386 円
イベント募金	イベントでの募金箱設置や、模擬店による啓発（10 イベント 12 日間）	159,313 円
個人募金	個人での協力や、缶バッジ等の共同募金啓発グッズ、募金機能付き自動販売機やマッサージ機利用による募金並びに、ボランティア活動の場や店舗・市役所等への募金箱設置（協力 94 件）	316,373 円
募金額合計	9,309,148 円 達成率 100.57%（内 7,000 円期間外受付）	

イ．ボランティア団体等と取り組む効果的な運動の検討・展開

ボランティアセンター登録団体とともに運動に取り組むため、街頭募金をはじめバザーやイベント、募金箱設置などの協力を呼びかけました。平成 24 年度からは、法人募金依頼準備への協力も得ました。

協力内容	6 種 15 日間、協力 109 団体（協力呼びかけ 155 団体） 福祉関係団体協力 5 団体
------	---

ウ．共同募金配分事業の実施

平成 23 年度の募金運動実績に基づき本年度 7,319,734 円の配分を受け、地域福祉活動への助成支援並びに市社協事業に活用しました。

地域づくり組織が取り組む福祉活動への助成	1,404,920円
地域福祉活動助成事業	5,109,495円
市社協事業	805,319円

エ．歳末たすけあい運動の実施

本年度は 3,064,984 円の募金協力と配分を受け、歳末たすけあい運動配分事業並びに広報啓発事業への活用として全額配分しました。

募金の種類	実施、依頼等の内容	募金額
戸別募金	1 世帯あたり 100 円の募金額を目安に、全世帯に協力を依頼	1,982,217 円
個人募金	名張仏教会様、市民（1 名）より寄付	1,084,167 円
募金額合計	3,066,384 円 達成率 102.21%（内 1,400 円期間外受付）	

オ．災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や市民からの義援金を受け付け、三重県共同募金会を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付機関	平成 24 年度送金額
東日本大震災	平成 23 年 3 月 14 日 ～平成 26 年 3 月 31 日	62,290 円
大分・熊本・福岡大雨災害	7 月 6 日～9 月 29 日	25,202 円
鹿児島県奄美地方台風災害	10 月 22 日～12 月 31 日	6,907 円

地域福祉活動助成事業の推進

地域福祉活動助成事業施行初年度として、本事業並びに共同募金運動について周知を図り、手続き支援を行いました。また申請に対し、共同募金委員会審査委員会並びに市社協理事会において審査を行いました。

事業名	申請額（団体数）	変更後助成額	財源
地域見守り配食事業	2,021,600 円(9)	1,764,300 円(9)	共同募金配分金
地域見守り事業（ふれあい・いきいきサロン）	1,915,000 円(69)	1,915,000 円(69)	共同募金配分金
ひとり暮らし高齢者のつどい事業	416,000 円(11)	330,500 円(11)	補助金
ボランティア活動事業	702,000 円(22)	702,000 円(22)	共同募金配分金
福祉協力校活動事業	575,000 円(23)	575,000 円(23)	共同募金配分金
イベント開催事業	0 円(0)	0 円(0)	社協会費
福祉活動備品整備事業	0 円(0)	0 円(0)	善意銀行寄附金
当事者・家族会活動事業	0 円(0)	0 円(0)	善意銀行寄附金

歳末たすけあい運動配分事業の見直し

配分金の目的と活用先を明確にし、団体が実施する配分事業を通じてその財源の周知を図ることにより、本運動への住民の理解と協力を得るため、本年度配分事業実施要綱を定めて取り組みました。

事業名	申請額（件数）	助成確定額
暮らし支援事業	210,000 円(42)	210,000 円(42)
新生活応援事業	720,000 円(18)	900,000 円(18)
地域見守り事業 配食・会食ボランティア活動	450,000 円(9)	450,000 円(9)
友愛訪問	300,000 円(15)	300,000 円(15)
ふれあい・いきいきサロン活動	270,000 円(54)	324,000 円(54)
子育て支援事業 子育てサロン事業	50,000 円(10)	60,000 円(10)
子ども交流事業	160,000 円(16)	208,000 円(16)
福祉施設交流事業	335,000 円(20)	335,000 円(20)
当事者・家族会支援事業	210,000 円(7)	210,000 円(7)
計	2,705,000 円(191)	2,997,000 円(191)
広報啓発事業（市社協）	70,000 円	67,984 円

13. 「課題」や「情報」、「知恵」を共有できるネットワークの構築

地域福祉活動連絡会議の開催

地域福祉活動に関して地域づくり組織の代表者をはじめ福祉活動実践者、民生委員児童委員等が定期的に交流し、各地域の課題や取組み等について情報交換を行うことにより、地域における地域福祉活動の取組みを一層推進していくことを目的に、市と共催にて開催しました。

日 時	出席者数	実践報告地域
第4回 8月22日(水)	40名 / 15地域	薦原地域づくり委員会
第5回 2月18日(月)	53名 / 15地域	青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会

ア. 地域福祉活動連絡会研修会として、第6回全国校区・小地域福祉活動サミット inKOBE・ひょうごへの参加

地域福祉活動連絡会議の研修会として、全国各地域における福祉活動の実践例を通じて学びあうサミットへ参加しました。

1月12日(土) 神戸国際展示場ほか	14名 / 7地域
--------------------	-----------

また、次年度三重県で開催されるにあたり、実行委員会部会へ参画しました。

ボランティアアドバイザー連絡会の開催

ボランティア相談 Day の開催やボランティア活動に関する相談支援を広げるため、ボランティアアドバイザー連絡会にて情報共有や活動支援を行いました。

登録ボランティアアドバイザー数	18名
連絡会	年6回(出席7名、のべ30名)
ボランティア活動見学	見学5団体、参加6名(のべ15名)

配食ボランティアグループ連絡会の開催

配食ボランティア活動者同士の情報共有や課題解決に向けた取組みの協議などをすすめる連絡会を開催しました。また、活動支援の一環として研修会を開催し、活動基盤の整備として保健所への届出や備品購入助成申請支援等も随時行いました。

連絡会	5月18日(金)17名 / 9団体、2月13日(木)13名 / 7団体
研修会	8月24日(金)81名(8団体、5公民館・市民センター) テーマ：配食ボランティア活動における衛生管理について

福祉協力校連絡会の開催

福祉協力校間の情報共有を図り、福祉教育活動を推進するため連絡会を開催しました。

福祉協力校	24校 小学校17校(全校)・中学校5校(全校)・高等学校1校 高等専門学校1校
連絡会	年2回 5月15日(火)参加23校、3月1日(金)参加21校

各施設のボランティア担当職員を対象とした交流会の開催準備

ボランティアセンター登録更新・案内時をはじめ、ふれあい活動受入依頼時に合わせて、交流会の計画などを案内し、次年度開催に向けた準備を行いました。

2. 生活支援課部門

権利擁護に関する支援

1. 事業啓発活動

成年後見制度を中心とした権利擁護に関するシンポジウム、研修会の開催

成年後見制度に対する潜在的需要があるにも関わらず、制度利用が進んでいない状況、後見報酬等をめぐる費用負担の問題、第三者後見人の受任者不足等といった課題を共有しつつ、名張市における成年後見制度の現状、ニーズ把握調査の結果、今後の在り方、制度の活用方法等についてシンポジウム等を開催しました。

日 程	活 動 内 容
4月22日	<p>名張市における成年後見制度の今後を考えるシンポジウム ～一緒に考えてみませんか？名張の成年後見制度のこれからを～</p> <p>第1部 講 演：「地域で取り組む成年後見 ～特定非営利活動法人あさがおの实践より～」 特定非営利活動法人 あさがお所長 尾崎 史 氏</p> <p>第2部 実態調査報告：名張市における成年後見制度に関する実態調査結果報告 皇學館大学 現代日本社会学部 准教授 関根 薫 氏</p> <p>第3部 パネルディスカッション テーマ：「成年後見制度を安心して利用するためにいま何が求められているのか？」 参加者：69名</p>
3月27日	<p>成年後見制度啓発研修会～成年後見制度の活用に向けて～</p> <p>講 演：「成年後見制度の活用について」 講 師：稲垣 昭則 氏（稲垣司法書士事務所） 参加者：35名</p>

市内福祉事業所等への訪問紹介、合同勉強会等の開催

ア. 地域福祉権利擁護事業に関する啓発活動

昨年度に引き続き、なばり地域権利擁護センターの認知度向上のためチラシを作成し、市内居宅介護支援事業所3か所に対して、訪問紹介等を行いました。

イ. 悪質商法被害の予防に向けた合同勉強会等の開催

悪質商法の予防啓発等、権利擁護の推進について啓発活動を実施しました。

日 程	活 動 内 容
5月25日	<p>美旗地区高齢者学級 テーマ：「オレオレ詐欺から身を守るために」参加者：63名</p>
11月27日	<p>ケアホームゆっくる権利擁護学習会 テーマ：「消費者被害について」参加者：30名</p>

2. 職員の確保、資質向上

生活支援員養成研修の地域福祉課との共同開催

地域福祉課と共催で生活支援員養成&ボランティアスキルアップ研修会を開催し、受講者数 30 名の内、20 名が生活支援員として登録いただきました。

日 程	研 修 内 容
第 1 回 10 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリエンテーション」 名張市社協 坂元 やよい ・「地域生活における個別支援」 名張市民生委員児童委員協議会連合会元会長・名張市社協前会長 石井 洋子氏 ・「権利擁護とは」 名張市社協 坂元 やよい
第 2 回 10 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域福祉権利擁護事業について」 名張市社協 坂元 やよい ・「成年後見制度について」 伊賀地域福祉後見サポートセンター 田辺 寿氏
第 3 回 11 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症高齢者への支援」 名張市地域包括支援センター 半田 久美氏 ・「医学の基礎知識」 名賀医師会 会長 矢倉 政則氏
第 4 回 11 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・「知的障害者への支援」 名張市障害者相談センターなびっと 竹岡 静代氏 ・「精神障害者への支援」 名張市障害者相談センターなびっと 辻本 美和氏 ・「個別支援の振り返り」 名張市社協 坂元 やよい
第 5 回 12 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・「傾聴とは」 名張市社協 稲森 恒次 ・「研修まとめ」 名張市社協 坂元 やよい

生活支援員月例会

生活支援員と専門員の情報共有・連携強化、援助者としての知識・スキルの向上に向けた内容を実施しました。年に 2 回は伊賀市社会福祉協議会（伊賀地域権利擁護センター）と共同で生活支援員月例会を開催し、両市における生活支援員間の情報共有、情報交換等を行い、知識・スキルの向上に向けた内容を実施しました。

日 程	研 修 内 容
第 1 回 4 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム 「名張市における成年後見制度の今後を考えるシンポジウム ～一緒に考えてみませんか？名張の成年後見制度のこれからを～」
第 2 回 5 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会 「記録の書き方について」
第 3 回 7 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会 「精神障害者の理解」(伊賀市社会福祉協議会との合同)
第 4 回 9 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・視察研修 就労移行支援事業・就労継続支援事業 B 型・生活介護事業 社会福祉法人 名張育成会「ワークプレイス 栞」
第 5 回 10 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> ・視察研修 グループホーム・ケアホーム 「フェアハウス名張」施設見学
第 6 回 11 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・県内生活支援員研修会に出席

第7回 1月24日	・茶話会 「平成24年度 生活支援員月例会の振り返り」
第8回 2月1日	・講演会 「障がい者の老後の生活保障について」 (伊賀市社会福祉協議会との合同)
第9回 3月28日	・意見交換会 「次年度の月例会について」

県内生活支援員研修会への参加

日 程	研 修 内 容
11月1日	「支援者から見た障害者の地域生活のあり方」 (有)With A Will / 市川社会福祉士事務所 取締役 市川 知律 氏

生活支援員（候補者）習熟研修会の開催

日 程	研 修 内 容
7月20日	「生活支援員の業務について」 情報提供
11月14日	「一人暮らしの高齢女性のケース」 ～生活支援員と利用者の訪問面談～ 事例検討

専門員・支援員のスキルアップ研修への参加

専門員の知識・技術向上のため、以下の研修会に参加しました。

日 程	研 修 内 容
6月7日	・平成24年度 地域福祉権利擁護事業「専門員研修会」
7月17日 ～7月18日	・平成24年度 東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会 「今こそ発揮！社協の“総合力”」 ～成年後見制度について、社協が果たすべき役割は何か？～
2月21日 ～2月23日	・平成24年度 日常生活自立支援事業 「専門員実践力強化研修会」
3月1日	・第8回権利擁護・虐待防止セミナー 「地域社会に求められる成年後見の機能と体制」

法人後見支援員の育成・活用

身上監護面の対応を中心に被後見人等の居所訪問を行う法人後見支援員を育成し、今後の体系化に向けた取り組みを行いました。（法人後見支援員数：1名）

3. 関係機関とのネットワーク形成

県内市町社協における法人後見等検討会議への参画

いなべ市社会福祉協議会、鈴鹿市社会福祉協議会、尾鷲市社会福祉協議会、名張市社会福祉協議会の4社協において、法人後見支援員養成等の検討を中心に4回の会議を実施しました。

日 程	検 討 内 容
10月5日	・各市社協における成年後見制度に関する取組みと現状と課題について

12月7日	・今後の会議での検討 ・協議手順について
2月22日	・法人後見の実務について ～名張市社協の事例をもとに～
3月15日	・法人後見専門員及び法人後見支援員の役割について

関係機関との連携状況

地域における課題を共有し、その課題を踏まえて地域のサービス基盤を整備する役割を担っている会議等への参画しました。

会議等への参加状況	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県社協契約締結審査会 (毎月1回) ・名張市精神保健福祉関係者連絡会 (毎月1回) ・名張市自立支援協議会 全体会 (年2回) ・名張市自立支援協議会 運営会議 (毎月1回) ・名張市自立支援協議会 権利擁護部会 (2か月に1回) ・名張市自立支援協議会 地域移行部会 (4か月に1回)
-----------	---

4. 相談援助、活動実績等

なばり地域権利擁護センター

なばり地域福祉権利擁護センターは開設5年目を迎え、契約利用者数・相談援助件数とも大幅に増加しました。(実利用人数前年比138.5%、15名増)

相談援助件数等

事項/対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
問合わせ件数	2	0	2	30	34
初回相談件数	7	5	4	1	17
相談援助件数	893	1,589	1,357	87	3,926
契約締結件数	7	7	4	1	19
終了件数	1	0	2	0	3
契約件数	16	20	16	2	54

* 利用人数については H25.3 月末現在の契約件数

法人による成年後見人等の受任

親族関係や経済的な理由等により適切な後見人等を得られない方を中心に法人後見の受任を行いました。(成年後見人等受任件数：4件)

法人後見受任委員会の開催

法人後見受任の検討を行う法人後見受任委員会を市内外の法律関係者、学識経験者、民生委員児童委員、名張市等の参画のもと開催しました。(4回)

開催回数・日程	検討項目
第4回受任委員会 (6月21日)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 成年後見人等候補者就任審査案件の検討について 2. 法人後見受任者の経過報告について 3. 相談案件について
第5回受任委員会 (8月22日)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 成年後見人等候補者就任審査案件の検討について 2. 法人後見受任者の経過報告について

第6回受任委員会 (10月18日)	1. 成年後見人等候補者就任審査案件の検討について 2. 法人後見受任者の経過報告について
第7回受任委員会 (1月21日)	1. 成年後見人等候補者就任審査案件の検討について

福祉資金貸付に関する支援と住宅入居保証事業の検討

1. 福祉貸付制度の周知及び援助活動の強化

貸付制度説明会の開催

生活に困窮している世帯に適切に支援が行き渡るよう、制度の周知のため、各地区民児協定例会において、福祉資金貸付制度の説明会を開催しました。

また、広報誌による制度の紹介も行い、学校入学の際の教育支援資金等、相談に繋がるケースも多く、一定の効果が得られました。

援助活動の強化

離職者に対しては、行政、ハローワーク等と一体になり、制度の狭間から漏れることのないよう、連携して支援を行いました。

また、現在借入中の世帯に対しても、民生委員と連携し、世帯の状況の変化等、情報を共有することで、新たな生活課題の発見が可能となり、継続的な支援を行うことができました。

督促業務の強化

貸付件数の増加に伴い、三重県社会福祉協議会とともに貸付後の償還指導を重点的に行いました。償還が滞っている世帯に対して面談を行い、自立に向けた取り組みを促しました。

各種貸付事業の実績

ア. 生活福祉資金

離職者を対象とする総合支援資金や、緊急かつ一時的な貸付である緊急小口資金の貸付件数が倍増しており、長引く不況により生活困窮者が増加していることがわかります。

低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯に対して、経済的自立や社会参加の促進等を図るため、次のとおり貸付を行いました。

相談及び貸付内容

資金の種類		相談件数 (実数)	相談件数 (延数)	貸付件数	貸付金額
総合支援資金		40	312	7	3,734,500円
福祉資金	療養費・介護費	7	0	0	0円
	福祉費	22	15	3	214,000円
	福祉費(住宅)	12	42	0	0円
	障害者自動車購入費	21	67	1	1,038,000円

生業費	6	47	0	0円
技能習得費	4	35	1	2,000,000円
緊急小口資金	66	262	17	1,600,000円
教育支援資金	44	355	2	2,607,000円
不動産担保型生活資金	6	30	6	0円
その他	19	96	-	-円
計	247	1,261	37	11,193,500円

長期滞納者面談

面談日	面談者数
9月11日	1名
10月22日	1名
2月7日	2名
2月22日	1名

イ．地域福祉金庫貸付

近年の経済情勢の影響を受け、生活保護申請の際のつなぎ資金としての貸付件数が増加しています。

低所得世帯で不時の出費により緊急かつ一時的に生活が困難になった世帯に対し、次のとおり貸付を行いました。

相談及び貸付内容

貸付金額	2,279,000円(97件)
償還額	1,992,000円
未償還額(過年度含む)	1,227,000円(50件)

ウ．国民健康保険出産費貸付

国民健康保険に加入しており、出産育児一時金の支給を受けることが見込まれる世帯に対する貸付ですが、現在は産院への直接払いが制度化されたため、償還業務のみとなっています。

相談及び貸付内容

貸付金額	0円
償還額(過年度分)	268,000円(2件)
未償還額(過年度分)	212,000円(2件)

福祉資金貸付事業は、自立生活サポート事業と連携し、アセスメントから支援方針の決定、一人ひとりに寄り添った伴走型の支援までを行うことによって、経済的支援のみならず、日常生活面等におけるきめ細かな支援も可能となり、貸付が世帯の自立のために有効に役立てられました。

また、世帯の自立につながったことで、貸付金の償還率も高くなり、制度の運用面においても、大きな効果がありました。

2. 住宅入居保証事業の検討

住宅入居保証事業の検討

先進地への視察を行い、情報の収集に努め、名張市において具体的にどのような運用

が可能か、検討を行いました。

地域特有のニーズの把握と、それに対応できる事業の運用を目指し、次年度以降の実施に向けて着実に積み上げを重ねました。

生活保護受給者・ボーダーライン層への支援

1. 自立生活サポート事業

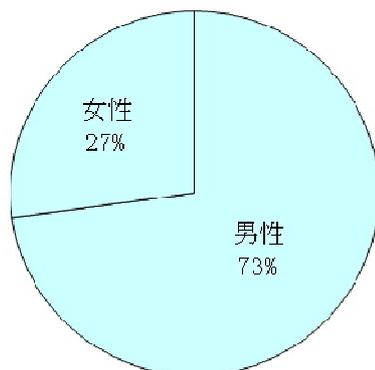
昨今の経済情勢の変化を背景に失業や健康面の問題等、様々な事由により、生活に困窮している人に対して、経済的自立支援、日常生活自立支援、社会生活自立支援等の自立支援プランを作成し、安定した生活を再構築できるよう支援を行いました。相談者や制度の枠組みに囚われることなく、相談者の支援ニーズに合った制度横断的なサポートを行うことによって、相談者に暮らしの安心を提供することができました。

また、支援プログラムのマニュアル化や社会的な居場所づくり支援事業との連携による支援メニューの拡充によって、相談者の様々な支援ニーズに応えられる支援が可能となりました。

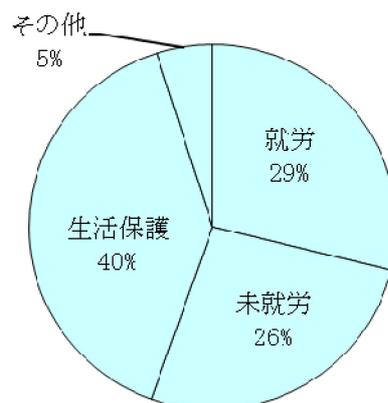
支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	68	76	92	137	121	91	94	62	143	126	109	89	1208
来所	41	41	78	121	100	70	80	60	106	98	80	86	961
訪問	18	38	50	48	65	35	27	39	72	40	48	38	518
合計	127	155	220	306	286	196	201	161	321	264	237	213	2687

相談者数(男女別)



相談者数(就労状況)

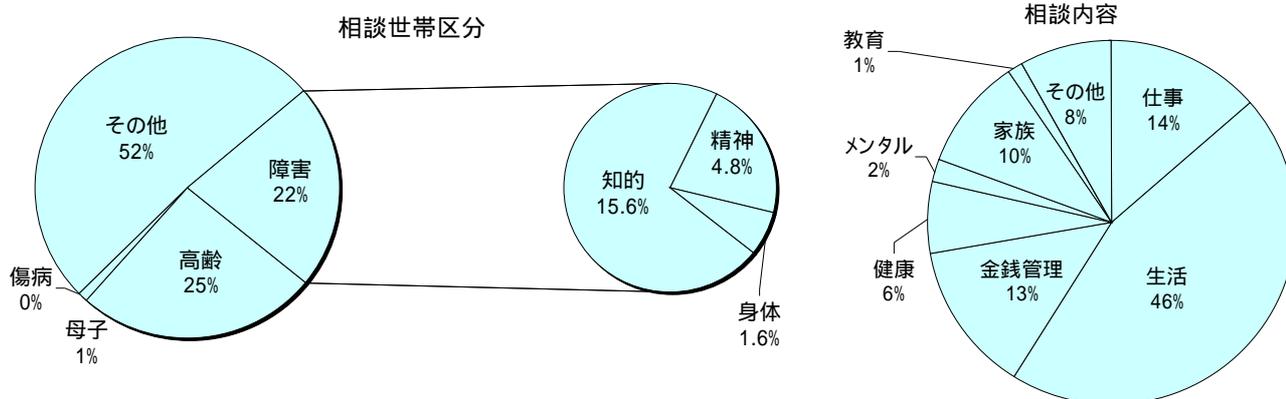


相談件数は、延件数、実員数ともに急増しており、昨年度と比較した増加率は270%を超えます。

相談者の内訳については、男女別では男性が7割を占め、就労状況に関しては生活保護受給者と失業者を合わせると6割を超えます。

相談世帯区分

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢	45	53	63	83	68	38	50	38	74	61	61	49	683
母子	1	2	0	1	0	3	0	4	9	3	4	3	30
傷病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害	知的	3	30	60	110	73	49	57	5	8	9	6	420
	精神	11	12	9	19	15	8	7	10	9	13	9	128
	身体	4	2	3	3	7	1	1	1	4	0	14	41
その他	63	56	85	90	123	97	86	103	217	178	143	144	1385
合計	127	155	220	306	286	196	201	161	321	264	237	213	2687



世帯区分に関しては、「その他」世帯が全体の 50%を占めています。ここには障害者手帳を取得するまでには至らないが、判断能力等に不安があり、自立した生活を送ることが困難な相談者が多く含まれています。

相談内容については、「生活」に関する相談がもっとも多く、全体の 4 割を占めており、日常生活面における支援を必要としている相談者が多いことがわかります。

名張市健康福祉部生活支援室との連携

離職者等、生活に困窮している者に対し、福祉資金の貸付相談から生活保護の相談への同行支援、生活保護の受給決定までのつなぎ資金の案内、就労支援への同行、再就職後の定着支援等、生活支援室と連携してワンストップで伴走型の支援を行うことで、インタビュー面接から相談者の自立による支援終了まで、一貫して適切な支援を提供することができ、相談者の早期の自立が可能となりました。

『社会的居場所づくり支援事業』との連携

相談者の生活能力、不特定多数の人を相手にしたコミュニケーション能力、就労に関する能力等、面談のみでは知りえない相談者の能力及び特性をボランティア活動等への参加状況から見て取ることができ、相談者の適正の見極め、生活課題の発見等に大いに役立ちました。

また、自尊感情の低下等の課題に対して、ボランティア活動への参加が自己有用感を高め、相談者の自信の回復にもつながりました。

多重債務解決プログラム等の導入

本事業の相談者は、生活課題が複雑に絡み合っていることも少なくなく、債務に関する相談については、プログラム化することで、弁護士相談等に適切に繋ぐことができました。

また、プログラムの導入によって、複合的な課題に対処しやすくなり、課題の早期解決と、自立に向けた道筋が明確になることで、相談者との信頼関係の構築が進みました。

2. 社会的な居場所づくり支援事業

名張市からの委託事業であり、10月1日から事業を行いました。

就労自立は困難だが、社会生活の維持発展を図ることが必要な方に対して、経済的自立、日常生活自立、社会生活自立を図るため、福祉、環境等の社会参加活動を通じて、地域社会との交流により社会生活の自立ができるよう実施しました。

ボランティア活動等の社会的な居場所を提供することによって、事業参加者の自尊感情の回復と自己有用感の醸成を図ることができました。

今年度は農業体験ボランティア活動とティー・サロンボランティア活動を行い、この事業の参加者の中から、2名の方が就労に結びつくことができました。

農業体験ボランティア

名張市アグリ協議会に参画している NPO 法人と連携し、ジョブトレーナーの資格を持つ指導者のもと、農業体験を行いました。

事業参加状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
想定数	10	10	5	10	10	10	55
参加数	12	16	7	15	12	17	79
達成率	120%	160%	140%	150%	120%	170%	144%

ティー・サロンボランティア

老人福祉センター「ふれあい」において、コーヒー、紅茶等を振る舞い、サロン活動を行いました。

事業参加状況

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
想定数	10	10	5	10	10	10	55
参加数	10	8	6	8	4	6	42
達成率	100%	80%	120%	80%	40%	60%	76%

啓発活動

引きこもりの女性が農業とふれあうことで社会性を取り戻すという姿を描いた映画の上映会を行い、事業の周知・啓発活動に取り組みました。

日 程	啓発内容
3月11日	映画「アンダンテ～稲の旋律～」上映会 参加人数 約 200 名

関係機関との連携

事業参加者の中には、複合的な生活課題を持っている方がいるため、市内関係福祉機関、相談事業所と連携を図りました。

名張市とは、2 か月に 1 回、事例検討会を開催しました。行政と支援策を協議することにより、支援を充実させることができました。

3. 介護支援課部門

事業別取組み実績

1. 居宅介護支援事業（相談援助）

介護支援専門員（ケアマネジャー）により、介護を必要とする方の心身の状況、意向を踏まえた居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、各サービスが適切に提供されるよう関係機関との連携・連絡調整を図りました。

年間利用者数

給付種別	年間延利用者数	
予防（要支援 1 及び 2）	132	6.6%
介護（要介護 1 から 5）	1,872	93.4%
計	2,004	

利用者の特性

ア. 年齢

65 歳未満	65 歳以上 75 歳未満	75 歳以上	(内 85 歳以上)
69	395	1,540	893
3%	20%	77%	45%

イ. 要介護区分

要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
132	453	567	433	287	132
7%	23%	28%	22%	14%	6%

地域別利用状況

名張	745	37.2%
鴻之台・希央台	22	1.1%
蔵持	36	1.8%
梅が丘	106	5.3%
薦原	19	1.0%
美旗	37	1.8%
比奈知	50	2.5%
すずらん台	36	1.8%
錦生	148	7.4%
赤目	368	18.4%
箕曲	23	1.1%
百合が丘	141	7.0%
国津	24	1.2%
桔梗が丘	92	4.6%
つつじが丘	145	7.2%
伊賀市青山	0	0.0%
県外	12	0.6%

24 時間 365 日の対応（相談調整件数）

通常 (8:30～17:30)	早朝 (6:00～8:30)	夜間 (17:30～22:00)	深夜 (22:00～6:00)
217	89	92	8
53%	22%	23%	2%

計：406 件

月平均：33.8 件 その他緊急訪問対応：3 件

地域包括支援センターとの連携（包括的ケアマネジメント事業への協力）

主任介護支援専門員会議への参画	2 回
包括主催研修会への協力	3 回

各種代行業務

(件)

介護保険要介護（更新）認定・要支援（更新）認定申請書	193
要介護認定等資料提供申出書	182
短期入所に係る長期継続利用理由書	1
保険証返還	71
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	65
紙おむつ等給付事業利用申請書	20
軽度生活援助事業利用申請書	3
介護保険居宅介護（支援）住宅改修費支給申請書・住宅改修が必要な理由書	29
介護保険居宅介護（支援）福祉用具購入費支給申請書	27
介護保険負担限度額認定申請書	35
名張市配食サービス事業利用申請書	6
名張市訪問理美容サービス事業利用申請書	1
指定（介護予防）福祉用具貸与理由書	2
通院介助のための乗車又は降車の介助が中心である場合のケアプランの提出	5

2. 訪問看護事業（在宅療養支援）

名賀医師会の協力に基づく訪問看護ステーションとして、名張市及び伊賀市旧青山町をエリアに、訪問看護師が主治医及び介護支援専門員と連携しながら生活の場へ赴き、在宅での療養生活支援に努めました。

年間利用者数

給付種別	年間実利用者数		年間延利用者数	
	数	割合	数	割合
予防（要支援 1 及び 2）	6	1.2%	45	1.4%
介護（要介護 1 から 5）	387	79.5%	2,585	82.5%
医療（乳幼児から高齢者）	94	19.3%	505	16.1%
計	487		3,135	

利用者の特性

ア．年齢

	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上	(内85歳以上)
実利用者数	34	77	376	252
	7%	16%	77%	52%
延利用者数	90	546	2,583	1,645
	3%	17%	80%	51%

イ．要介護区分（医療保険分含む）

	医療	介護					
		要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実利用者数	94	6	24	52	49	139	123
	19%	1%	5%	11%	10%	29%	25%
延利用者数	505	45	75	411	418	891	790
	16%	2%	2%	13%	13%	29%	25%

地域別利用状況

	実利用者数		延利用者数	
	人数	割合	人数	割合
名張	80	16.4%	550	17.4%
鴻之台・希中央	0	0.0%	0	0.0%
蔵持	0	0.0%	0	0.0%
梅が丘	24	4.9%	218	7.0%
薦原	12	2.5%	142	4.7%
美旗	17	3.5%	66	2.0%
比奈知	23	4.7%	86	2.7%
すずらん台	1	0.2%	1	0.03%
錦生	12	2.5%	97	3.0%
赤目	18	3.7%	96	3.0%
箕曲	6	1.2%	9	0.2%
百合が丘	14	2.9%	51	1.5%
国津	0	0.0%	0	0.0%
桔梗が丘	30	6.2%	139	4.6%
つつじが丘	45	9.2%	285	9.2%
伊賀市旧青山町	205	42.1%	1,395	44.2%

24時間365日の対応（緊急訪問対応件数）

通常 (8:30～17:30)	早朝 (6:00～8:30)	夜間 (17:30～22:00)	深夜 (22:00～6:00)
33	5	9	5
63%	10%	17%	10%

その他緊急相談対応：64件

関係機関との連携

ア．居宅介護支援事業所・地域包括支援センターと連携したサービス提供

ふれあい居宅	その他居宅	地域包括支援センター
112	280	0
29%	71%	0%

イ．医療機関との連携

	名張市の 医療機関	伊賀市の 医療機関	その他県内の 医療機関
医療機関数	15 54%	7 25%	6 21%
指示書数	305 61%	147 30%	45 9%

ウ．その他

会議名	備考
名張訪問看護ステーション 「ふれあい」運営委員会	名賀医師会長、名張市健康福祉部長、名張市高齢障害支援室長、名張市保健センター長、伊賀市青山支所住民福祉課長、青山保健センター、名張市民児協連合会長、青山地区民児協連合会長を構成員に運営について協議（1回）
三重県訪問看護ステーション連絡協議会伊賀地区ブロック会議	名張市・伊賀市の訪問看護ステーション管理者による会議の開催（12回）

実習生の受入

学校名	実習内容
三重県看護協会	訪問看護師等養成研修会実習 1名（2日）

その他

ふれあい通信（利用者及び家族からの一言メッセージ集）を発行しました。

3．通所介護事業（在宅介護支援）

デイサービスセンターにおいて、入浴・食事・機能訓練・レクリエーションを提供し、利用者の方の自立支援及びご家族の介護負担軽減に努めました。

年間利用者数

給付種別	年間実利用者数		年間延利用者数	
予防（要支援1及び2）	92	11.1%	590	7.9%
介護（要介護1から5）	743	88.9%	6,845	92.1%
計	835		7,435	

利用者の特性

ア．年齢

	65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上	(内85歳以上)
実利用者数	9	52	774	522
	1%	6%	93%	63%
延利用者数	77	467	6,891	4,543
	1%	6%	93%	61%

イ．要介護区分

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
実利用者数	92	155	268	148	104	68
	11%	19%	32%	18%	12%	8%
延利用者数	590	1,490	2,416	1,697	929	313
	8%	20%	33%	23%	12%	4%

地域別利用状況

	実利用者数		延利用者数	
	数	割合	数	割合
名張	471	56.4%	4,613	62.1%
鴻之台・希中央	34	4.1%	136	1.8%
蔵持	19	2.3%	257	3.5%
梅が丘	81	9.7%	451	6.0%
薦原	0	0.0%	0	0.0%
美旗	0	0.0%	0	0.0%
比奈知	29	3.5%	272	3.7%
すずらん台	0	0.0%	0	0.0%
錦生	52	6.2%	385	5.2%
赤目	85	10.2%	891	12.0%
箕曲	2	0.2%	25	0.3%
百合が丘	36	4.3%	329	4.4%
国津	0	0.0%	0	0.0%
桔梗が丘	0	0.0%	0	0.0%
つつじが丘	26	3.1%	76	1.0%

関係機関との連携

ア．居宅介護支援事業所・地域包括支援センターと連携したサービス提供

ふれあい居宅	その他居宅	地域包括支援センター
566	168	90
69%	20%	11%

交流事業の実施

保育園児	昭和保育園	19回（延360名）
	西保育園	1回（延15名）

ボランティアによる支援

ボランティア名	内 容
みえ長寿推進協力員伊賀連絡会	レクリエーションダンス 11回
箏曲すみれ会	琴演奏 1回
ドレミの会	唄、踊り披露 1回
いすず会	踊り披露 2回
名張マジック研究会	マジックショー 3回
J A K A & B I G	キッズダンス 2回
ぜに太鼓クラブ	ぜに太鼓 1回
個人	大和幸司さん演歌 5回
個人	津軽三味線演奏 2回
個人	フラダンス 1回
個人	ウクレレ演奏 2回

その他

ふれあい通信（行事予定や職員からのワンポイントアドバイス等）の発行
（年12回（毎月発行））

4. 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

老人福祉センター「ふれあい」において、「生きがい活動支援通所事業」及び「介護予防通所事業」を実施し、市内在住の高齢者の交流や健康づくり、介護予防の推進に努めました。

老人福祉センター管理運営事業

ア．施設利用状況

開館日数	299日		
年間延べ利用者数	19,672名	浴室延べ利用者数	12,593名
		カラオケ延べ利用者数	13,559名
		土曜日のみ延べ利用者数	107名（障害者）

イ．生きがい活動支援通所事業実績

基本事業	<ul style="list-style-type: none"> 生活相談：受付等にて、随時対応 映画会：月1回（月～土の6日間）実施 ふれあい交番の日：月1回警察官による地域防犯や交通安全に関する講話の実施（1月10日、「110番の日」で正しい110番のかけ方の講話） 		
風呂の日	毎月第3土曜（4月、8月、12月は1週間（月～土））		
各種発表会	ビリヤード大会	5月28日（土）	参加者：11名
		11月5日（土）	参加者：11名
3月23日（土）		参加者：11名	
	デュエットカラオケ大会	5月12日（土）	参加者：33組

	マジックショー	6月16日(土) 参加者：40名
	七夕カラオケ大会	7月7日(土) 参加者：71名
	芸能発表会	12月1日(土) 参加者：9組
	クリスマス抽選会	12月22日(土) 参加者：98名
	新春カラオケ大会	1月12日(土) 参加者：73名
	作品発表会	3月30日(土) 参加者：80名
	お茶会	3月30日(土) 参加者：65名

ウ．自主サークル活動支援

	カラオケ 教室	ふれあい ハーモニー	いきいき 書道クラブ (漢字)	いきいき 書道クラブ (かな)	茶道教室
活動回数	23	20	12	12	12
延参加者数	398	145	144	209	38
	ながつきの 友	ビリヤード 教室	ものづくり	ばりばりサ ークル	茶道
活動回数	11	50	50	12	15
延参加者数	84	286	362	63	42
	計				
活動回数	217				
延参加者数	1,771				

介護予防通所事業の推進

ア．一次予防事業の実施

健康相談	延べ1,354名	受付にて、希望者に血圧測定・健康相談を実施
一般マシン・トレーニング教室	延べ1,884名 実施日数：175日	運動器機能の向上のため、マシントレーニング教室を実施
ヘルスアップ教室 (全5回)	延べ92名	「健康マージャン教室」「料理教室」を実施
健康チェックデー (5日間)年2回	参加者46名 4月11日～15日 11月7日～11日	血圧、腹囲、体重、身長、BMI、体力測定を行い、健康相談を実施
私の健康カルテ	発行部数：73冊 健康チェックデー：3冊 足腰ばりばり教室：41冊 栄養ばりばり・健口ばりばり教室29冊	自分自身の健康管理や介護予防への意識付けを目的に発行
歯科衛生士による 「歯科相談」	実施日数：2日 参加者：30名	アンケートと歯科相談を実施
介護予防講演会	参加者：58名 3月24日(日)	スクエアステップによる介護予防について講演及び体験会を実施

イ．二次予防事業の実施

	足腰ばりばり教室	栄養ばりばり！！「健口教室」
実施時期	4月～3月	2月～3月
コース	全16回	全6回
実施日数	149日	6日
延べ人数	943名	170名
実人数	77名	29名

ボランティアによる支援

ボランティア名	内 容
個人	カラオケ指導 23回
個人	コーラス指導 20回
個人	ビリヤード指導 25回
個人	カラオケ大会支援 4回
個人	芸能発表会支援 1回
個人	カラオケ入力 112回

地域活動支援・協力

名張地区民生委員児童委員協議会	高齢者のつどい
緑が丘地区自治会福祉部	ふれあい施設見学・体験会

事業経営管理体制の整備

1．経営管理体制の整備

課全体での検討協議

事業運営管理会議の開催	12回/年	各事業管理者と課長により実施
	事業経営の実施状況管理、課題確認等	
サービス向上検討委員会の開催	16回/年	各事業管理者及び主任等により実施
	苦情受付、事故報告、相談受付、ひやりハット、要因分析に係る様式の見直し・整備	

各事業における検討協議

事業所運営会議の定例開催	居宅介護	12回/年
	訪問看護	14回/年
	通所介護	11回/年
	老人福祉センター	18回/年

2. 資質向上

事業別研修参加状況

各職能に応じたスキルアップ 研修会への参加	居宅介護	6件
	訪問看護	35件
	通所介護	13件
	老人福祉センター	0件
関連分野研修会への参加	居宅介護	19件
	訪問看護	3件
	通所介護	2件
	老人福祉センター	6件
事業所内での事例検討や実践 研修の実施	居宅介護	50件
	訪問看護	8件
	通所介護	5件
	老人福祉センター	2件

4 . 昭和保育園部門

事業取組み実績

保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども ~よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども~ 体力のある子ども 意欲のある子ども 友だちと感じあえる子ども
-------------------	--

保育人数の実績

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	7	14	30	23	32	38	144
5月	7	15	30	23	32	38	145
6月	7	15	30	23	32	38	145
7月	9	16	30	23	31	38	147
8月	10	16	30	23	31	38	148
9月	12	16	30	23	32	38	151
10月	13	16	30	23	32	38	152
11月	15	15	30	23	32	39	153
12月	16	15	30	23	32	39	155
1月	17	15	30	23	32	39	156
2月	18	15	30	23	32	39	157
3月	18	16	30	23	32	39	158

年間行事

4月5日	はじまりのつどい	10月26日	秋の遠足
5月22日	名張川稚魚放流	10月27日	秋まつり参加
5月23日	春の遠足	11月9日	親子遠足
7月6日	七夕会	12月18日	冬のお楽しみ会
7月6日	夏のお楽しみ会	2月9日	生活発表会
7月12日	プールあそび開始	3月7日	一日入園
8月30日	プール自由参観	3月13日	お別れ会
8月31日		3月19日	お別れ遠足
8月31日	プールあそび終了	3月26日	卒園式
10月6日	運動会	3月28日	修了式
10月17日	いも掘り		

- ア．園外散歩・・・随時（交通安全指導も兼ねて実施）
- イ．避難訓練・・・月1回（非常時に対応できるように実施）
- ウ．身体計測・・・月1回（幼児クラスは隔月）
- エ．内科健康診断・・・年2回

- オ．歯科健康診断・・・年1回
- カ．尿・ぎょう虫検査・年1回
- キ．歯みがき指導・・・年1回（幼児クラス）
- ク．視力検査・・・・・・年1回（4・5歳児）
- ケ．一時預かり保育・・・・・・延べ277名
- コ．異年齢交流・・・・・・週1回（幼児クラス）（兄弟の様なかかわりを楽しむ）
- サ．老人さんとの交流・月2回（歌をうたったり手遊びを一緒に楽しむ）
- シ．職場体験実習・・・・赤目中・名張中・南中
- ス．ふれあい活動・・・・名張小・すずらん台小・桔梗が丘小・つつじが丘小・桔梗が丘中
- セ．インターンシップ・名張高校
- ソ．保育短大実習
- タ．看護学校実習
- チ．調理師学校実習食育活動
- ツ．野菜づくり・・・・・・随時
- テ．サッカー教室・・・・年4回（5歳児）
- ト．図書館で絵本借用・随時（5歳児）
- ナ．クラス懇談会・・・・年1回（クラス毎）
- ニ．反戦映画会・・・・・・年1回
- ヌ．個人懇談会・・・・・・年1回
- ネ．人権擁護委員さんによる指導・・・絵本読み聞かせ
- ノ．英語学習・・・・・・月1回

適切な運営体制確立

運営委員会の実施

保護者や地域に開かれた運営を推進するため、運営委員会を2回開催し、保育計画や保育内容についての協議を行いました。（5月28日、3月2日）

施設環境整備の推進

環境整備のため設置	<ul style="list-style-type: none"> ・マイ保育ステーション開設（5月9日開所） ・給食室水道栓をレバー式に変更 ・避雷針 ・乳児保育室窓の防災シート貼り ・給食用食器一部交換
老朽化のため改修	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機（5歳児保育室：遊戯室） ・外灯 ・テラススロープ ・保育室ガラス入れ替え ・幼児用トイレ ・手洗い場前パネル板雨漏り ・総合遊具一部

健康管理の実施

内科健診	5月10日、11月22日
尿・ぎょう虫検査	4月20日
歯科健診	6月7日
歯みがき指導	6月14日
5歳児健診	8月22日、2月12日
身体計測	乳児（毎月） 幼児（隔月）
視力検査	11月1日（5歳児） 2月13日（4歳児）

ア．職員の健康診断

イ．給食・調乳に係る職員の検便（毎月2回）

ウ．防虫対策（可動式除菌・害虫駆除器クッカノンスーパー設置）

防火計画実施と交通安全指導の推進

ア．避難訓練の実施

4月	話を聞く（火災・地震）	10月	火災想定
5月	火災想定	11月	長時間延長保育中
6月	消防署員による指導	12月	消防署員による指導
7月	不審者進入想定	1月	地震想定
8月	風水害	2月	近隣よりの火災想定
9月	地震想定	3月	総合訓練

イ．救急救命研修（7月9日、9月13日）名張消防署員の指導

ウ．消火訓練（職員）隔月

エ．交通安全指導の実施

6月20日 名張警察署員の指導

3月1日 名張警察署員と三重県交通安全協会職員の指導

オ．緊急連絡配信（携帯メールシステム導入）

保護者との連携の推進

ア．クラス懇談会（各年齢毎に1回実施）

0歳児	1月16日
1歳児	11月20日
2歳児	2月26日
3歳児	6月5日
4歳児	12月13日
5歳児	5月29日

イ．個人懇談会（7～8月の午睡時間に実施）

ウ．相談、助言、指導・・・随時

地域との交流の推進

- ・藤堂家邸、名張小学校校庭の花見（4月11日）
- ・名張川鮎稚魚の放流（5月22日）
- ・丸之内地区子ども神輿行列参加（7月18日、10月28日）

- ・寿栄神社境内散歩（随時）
- ・高齢者との交流（ふれあいデイサービス・セントケア）月2～3回

ふれあい活動・高齢者との交流

- ・小、中、高校生とのふれあい活動（夏休み、冬休み利用、のべ40名）
- ・職場体験（名張中、赤目中、南中、名張高より23名）
- ・高齢者との交流（ふれあいデイサービス、セントケア）月2～3回

職員の資質向上の推進

ア．園内会議・研修

- ・職員会議（月1回・行事の前後）
- ・乳児カリキュラム作成会議（月1回）
- ・幼児カリキュラム作成会議（月1回）
- ・乳児部会
- ・幼児部会
- ・園内人権保育研修
- ・園内障害児保育研修
- ・人権保育部会
- ・障害児保育部会
- ・救急救命研修（職員対象8月4日）

イ．園外会議・研修

- ・施設長会議（月1回）
- ・副所長会議（隔月）
- ・乳児主任会議
- ・幼児主任会議
- ・コーディネーター研修
- ・支援担任・担当研修
- ・給食会議（月1回）
- ・なばり同和保育を考える会
- ・保健担当者会議（月1回）

ウ．各種研修

4月20日	子ども子育て支援について
4月29日	三重県保育士協会総会
5月24日	人権保育専門講座
5月27日	三重県保育総合研修
6月4日	あすなる研修
6月9日	名張市人権・同和教育推進協議会2012年度総会
6月13日、14日	全国私立保育園研究大会
6月19日	人権保育専門講座
7月10日	人権保育専門講座
7月14日	三重県人権・同和教育研究大会
7月14日	子ども観・発達観

7月26日	成長し続ける保育士集団をめざして
7月27日	人権保育専門講座
8月9日	あすなる講演会
8月18日	三重県保育士協会夏季研修
8月25日	人権ファシリテーター研修
8月29日	発達支援研修
9月2日	子ども条例講演会
9月5日	人権保育研修「保育の質を高める園内研修のあり方」
9月6日	園長研修会
9月13日	救急講習会
9月15日	人権保育専門講座
9月22日	わらべうた研修
9月27日	人権保育専門講座
10月19日	伊賀みどり保育園公開保育
10月20日	三重県人権・同和教育研究大会
10月24日	発達支援研修「乳幼児の発達支援について」
10月30日	研究発表「健やかな心と身体の育成をめざして」
11月5日	人権保育専門講座
11月17日	保育士協会秋季講習会
12月15日	保育の集い
1月12日	名張市人権・同和教育推進協議会
1月20日	発達支援研修「乳幼児の家族支援について」
1月26日	保育士協会セミナー・あすなるCLM実践報告会
1月29日	給食研修
2月21日	保健研修「感染症について」
3月13日	発達支援研修「幼児期の家族支援について」

エ．実習生等の受入

実習目的	人数	学校等
保育実習	15名	四天王寺短期大学他7校
小児看護実習	5名	市立看護専門学校
調理実習	1名	三重調理専門学校
保育ボランティア	3名	白鳳女子短期大学他2校

特別保育事業、取組み実績

低年齢保育事業の推進

延長保育事業の推進

ア．延長保育の利用実績（平日 18：15～19：15）

4月	327名	10月	303名
5月	328名	11月	280名
6月	330名	12月	286名

7月	309名	1月	317名
8月	260名	2月	339名
9月	230名	3月	346名

一か月平均 305名 年間延べ利用人数 3,655名

イ．スポット保育の利用実績

長時間保育・延長保育の登録園児以外にも朝、夕の突発的な長時間保育・延長保育に対応しました。

一日平均、平日 17.8名、土曜日 11.4名 年間延べ利用人数 4,907名

障害児保育事業の推進

5歳児・・・1名

支援担任研修	6月11日、7月23日
支援担当者研修	5月16日、6月20日 12月17日、2月18日
コーディネーター研修	4月16日、5月30日、7月25日、8月8日、9月3日 10月18日、11月5日、12月7日、2月28日、3月4日

5歳児健診（7月4日）

3歳半健診（8月28日）

1歳半健診（2月6日）

フィードバック研修（6月29日）

一時預かり保育事業の推進

ア．一時預かり保育の実績（延べ 277名）

	利 用 児 童 数						
	半日			一日			計
	勤務 形態等	緊急 一時的	私的 理由等	勤務 形態等	緊急 形態等	私的 理由等	
4月					8		8
5月		9			5		14
6月		10			7		17
7月	3			4	4		11
8月	5	12		11	4		32
9月				8	7		15
10月		5	1	14	20		40
11月	6	1	1	10	4		22
12月	4			11	7	1	23
1月	4			11	5		20
2月	9	15		9	5		38
3月	5			9	23		37
合計	36	52	2	87	99	1	277

マイ保育ステーションの開設（地域の子育て支援事業の推進）

育児体験や育児相談、一時預かりサービス利用を通して、妊娠期から途切れのない地域の子育て支援の拠点として5月9日に開所しました。

マイ保育ステーションの実績

マイ保育ステーション新規登録人数

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	23	9	8	5	4	11	8	3	3	2	6	82
1歳児	18	3	6	8	4	7	0	0	2	1	2	51
2歳児	23	9	1	4	1	8	5	1	0	2	1	55
3歳児	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	9
4・5歳児	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
妊婦	4	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	8
合計	74	21	19	19	9	27	13	5	5	5	9	206
世帯数	54	17	12	16	7	21	10	4	5	5	7	158

マイ保育ステーション無料体験一時預かり

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児											7	7
1歳児	1	1	1			1	2	2			3	11
2歳児			2			1	1			2	4	10
3歳児												0
4歳児												0
5歳児												0
合計	1	1	3	0	0	2	3	2	0	2	14	28

マイ保育ステーション利用延べ人数

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	44	32	24	28	34	47	42	28	17	29	37	362
1歳児	28	12	22	34	32	37	32	18	9	24	23	271
2歳児	41	24	12	7	14	20	16	15	5	10	13	177
3歳児	8	4	8	3	4	2	0	0	0	0	1	30
4・5歳児	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
妊婦	4	0	1	2	1	4	4	1	0	1	0	18
合計	125	72	67	74	85	110	94	63	31	64	74	859

毎月の行事内容

行事	内容
ステーションで遊ぼう	製作あそび
絵本大好き	ステーションのスタッフによる絵本のお話会
折り紙で遊ぼう	ボランティアさんによる折り紙あそび
ナースと一緒に	昭和保育園の看護師による身体計測
ミッチーと遊ぼう	子ども支援センター「かがやき」の道岡 多賀子センター長による「たのしい集い」の開催 (パネルシアター・絵本・わらべうた・ふれあいあそび 等)
避難訓練	保育園の子ども達と一緒に避難体験
保育ボランティア	一年を通して保育活動
その他	園庭開放・夏期時は水あそび

5 . 総務課部門

法人運営事業

1 . 組織経営管理体制の強化

理事会・評議員会及び監事会の開催

諸規程の改正、事業計画・予算、事業報告・決算、及び役員等の選任について承認を得ました。

ア．理事会（7回）

	開催日	議 案
第1回	5月24日	1) 平成23年度事業報告の認定について 2) 平成23年度一般会計決算の認定について 3) 平成23年度公益事業特別会計決算の認定について 4) 評議員の選任について 5) 組織構成会員の入会について
第2回	6月1日	1) 会長の選任について 2) 副会長の選任について 3) 会長の報酬等に関する規程の改正について
第3回	7月5日	1) 定款の変更について 2) 組織構成会員の入会について 3) 地域福祉活動助成事業にかかる審査について
第4回	9月20日	1) 一般会計補正予算（第1号）について 2) 公益事業特別会計補正予算（第1号）について 3) 組織構成会員の入会について 4) 評議員の選任について
第5回	12月20日	1) 組織構成会員の入会について
第6回	2月28日	1) 財産の取得について
第7回	3月21日	1) 平成24年度一般会計補正予算（第2号）について 2) 平成24年度公益事業特別会計補正予算（第2号）について 3) 平成25年度事業計画について 4) 平成25年度一般会計予算について 5) 平成25年度公益事業特別会計予算について 6) 就業規程の改正について 7) 定款細則の変更について 8) 組織構成会員の入会について 9) 評議員の選任について

イ．監事会（2回）

・決算監査 5月17日(火)

議 題

- 1) 平成23年度事業報告の監査について
- 2) 平成23年度一般会計・特別会計決算書類の監査について

・中間監査 12月5日(水)

議 題

- 1) 平成 24 年度上半期の事業報告について
- 2) 平成 24 年度上半期の経営状況について
- 3) 理事の出席状況について

ウ．評議員会（3回）

	開催日	議 案
第 1 回	5 月 25 日	1) 平成 23 年度 事業報告の承認について 2) 平成 23 年度 一般会計決算の承認について 3) 平成 23 年度 特別会計決算の承認について 4) 役員の選任について
第 2 回	9 月 21 日	1) 定款の変更について 2) 一般会計補正予算（第 1 号）について 3) 公益事業特別会計補正予算（第 1 号）について
第 3 回	3 月 22 日	1) 平成 24 年度一般会計補正予算（第 2 号）について 2) 平成 24 年度公益事業特別会計補正予算（第 2 号）について 3) 平成 25 年度事業計画について 4) 平成 25 年度一般会計予算について 5) 平成 25 年度公益事業特別会計予算について

経営会議等の開催

ア．経営会議の開催

法人の経営に係る基本情報を共有して健全な経営基盤を確立し、効果的・効率的なサービスを提供するため、経営会議を 24 回開催しました。

人事考課制度の本格実施に向けた進捗管理に力を入れたほか、職員採用や事業の進捗状況、財務、人事、事業についての検討を行い、法人としての方針を協議しました。

イ．職員説明会の開催

全職員に対して説明会を 2 回開催し経営状況等についての情報を共有しました。

- ・ 決算・経営状況報告、賞与説明会 6 月 26 日
- ・ 中間決算報告、賞与説明会 11 月 29 日

地域福祉活動計画を推進するための「第 2 次発展・強化計画」の策定

第 2 次発展・強化計画策定のためのプロジェクト委員会を設立し、「地域福祉活動の推進」と「組織経営の基盤強化」を柱とした骨子案を策定、理事会で承認を得ました。

本町駐車場用地の取得

総合福祉センターふれあいの利用者や事業所の利便性を図るため、駐車場用地を取得しました。

「とれたて名張交流館」運営協議会への参画

平成 24 年 8 月にオープンした「とれたて名張交流館」の運営協議会に参画し、福祉の店の出店と出店団体への支援を行いました。なお、年間売上高の 0.5%（252,529 円）に

については、福祉施設との位置付けから社協に還元され、「福祉のおみせ秋祭り」の開催費用等に活用しました。

広報活動の充実

ア．社協だより「ほほえみ」の発行

市民に社協事業をはじめさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉及びボランティア活動の推進を図るため、年4回発行から年6回（奇数月）発行に改め、伊賀タウン情報ユ一の紙面に掲載しました。

イ．ホームページの管理・運営

市民に、インターネットを利用して福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金についての周知とともに、社協の概要、活動内容、契約発注情報、財務諸表等を積極的に情報公開する場としてホームページを管理・運営し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。

月平均アクセス数 4,845 件

ウ．情報掲示板「地域の窓」及び福祉情報ステーションの活用

「災害ボランティア支援センター」の情報や社協に寄せられるさまざまな情報誌・チラシ等を随時掲示しました。

「地域の窓」と福祉情報ステーションは、ふれあい1階ロビーに設置。

B C P（事業継続計画）及び災害時職員行動マニュアル策定に向けた検討

災害や事故などが発生した場合に事業活動を継続・再開するための初動体制の策定について、市、三重県社会福祉協議会等からの情報収集や経営会議等での検討を重ね、B C Pの素案及びマニュアルのレイアウト作成の準備を進めました。

2．社協会員の増強

平成23年度に、市民や福祉関連分野だけでなく地域福祉の推進に必要なあらゆる団体が参加していただけるよう会員制度を見直し、平成24年度から新たに組織構成会員制度を導入しました。年度末までに、138団体に加入いただきました。

・社協会費収入の実績

社会福祉に関心を持って社協の趣旨に賛同していただき、1世帯1会員の加入を目指して、全世帯を対象に世帯会費300円の納入をお願いしました。

また、賛助会員として法人等から賛助会費の納入をいただきました。

会費区分	金額
世帯会費	6,194,778 円
賛助会費	35,000 円
合計	6,229,778 円

組織構成会員の会費は、平成25年度開始です。

3．法規及び財務の運営管理体制の強化

社会福祉法人新会計基準の運用開始を平成26年度に修正し、担当者が関係研修会に参加しました。また、管理職に対して、重要なポイントや移行手順について顧問税理士による研修会を開催するとともに、会計システムのデモ実施や金融機関のインターネットバン

キングの調査など、移行に向けた準備を進めました。

4. 人事労務管理

平成23年度から引き続き人事考課制度の試行的運用を実施し、平成25年度の施行に向けて人事考課制度全体の検討、調整、規程の整備等を行いました。

また、人事考課制度の運用にあたり不可欠となる職員研修の充実を図るため、職員の階層に合わせた研修（階層別研修）とテーマ別に行う研修（課題別研修）を導入しました。

人事考課制度の試行的運用

平成22年度に構築した人事考課制度に基づき、平成23年度に人事考課制度の試行実施を開始しましたが、評価結果の信頼性を高めるため、本年度も引き続き試行実施を行いました。

また、平成25年度からの本格実施に向けて、人事考課制度全体のスケジュール確認・調整、考課者の資質向上のための研修会・意見交換会及び職員全体への制度理解を進めるための定期的な職員説明会等を実施しました。

ア. 人事考課制度の試行実績

- ・目標設定/面談 4月～5月
- ・前期評定 10月
- ・中間面談 11月
- ・後期自己評定 3月～

イ. 考課者の意見交換会（2回）

- ・5・6級対象 12月12日(水)
- ・3・4級対象 12月20日(木)

ウ. 職員説明会（4回）

- ・4月12日(木)
- ・7月17日(火)
- ・11月29日(木)
- ・3月1日(金)

職員研修（正規職員対象）

ア. 階層別研修

- ・新任研修 6月12日(火) 入職した職員対象
- ・新リーダー研修 7月24日(火) 新たに3級以上へ昇格した職員対象
- ・リーダー研修 8月28日(火)、9月10日(月)・12日(水) 3級以上の職員対象
- ・管理者研修 1月28日(金) 5・6級職員対象
- ・中堅研修 2月15日(金) 入職2年目以降の1・2級職員対象

イ. 課題別研修

- ・人事考課 考課者研修 5月16日(水)、9月28日(金)
- ・平成25年度事業について 3月15日(金)

5. その他

社会福祉大会の開催

第42回名張市社会福祉大会を10月21日(日)アドバンスコープA D Sホールにて開催しました。

- ・顕彰 名張市長表彰（民生委員・児童委員功労者） 6名
- 名張市社会福祉協議会会長表彰（社会福祉施設功労者） 8名
- （社会福祉関係団体育成功労者） 3名
- （ボランティア功労） 1名・1団体
- 名張市社会福祉協議会会長感謝（ボランティア活動） 5名
- （善意銀行多額寄附者） 3名・3団体
- 名張市共同募金委員会会長感謝（共同募金多額寄附者） 1団体

- ・大会記念行事「心を育くむトーク&コンサート」田中ゆか(うたとハーブ)
伊藤ひろし(パーカッション)

戦没者春季追悼式助成事業

戦没者の慰霊と平和への祈願を趣旨として各地区主催で行われる戦没者春季追悼式(慰霊祭)に対して、10地区(1,156柱)へ助成を行いました。

1柱当り360円。

映画「エクレール・お菓子放浪記」の名張市上映実行委員会への参画

東日本大震災の被災地を支援するため、被災前の宮城県石巻市を中心に製作された映画「エクレール・お菓子放浪記」の上映実行委員会の事務局として参画し、6月8日(金)・9日(土)の両日、アドバンスコープA D Sホールにて上映、のべ1,676人の参加がありました。なお、チケット売上の一部と当日の寄附金合わせて238,157円を「エクレール基金」に寄附しました。

各福祉団体への活動支援と連携

名張市老人クラブ連合会、名張市身体障害者互助会、名張市遺族連合会、名張保護司会の事務局補助による自立に向けた支援を行いました。また、各団体の実施する事業へ職員を派遣することにより、連携の強化に努めました。

名張市福祉担当部局との連携強化

市健康福祉政策室へ1名、高齢・障害支援室へ1名の職員派遣を行い、業務推進体制を強化しました。

日本赤十字社三重県支部名張市地区事業

1. 赤十字運動の推進

日本赤十字社社資募集

日本赤十字社の人道的諸活動を行うための活動財源として、地域づくり組織を通して、全世帯を対象に一戸あたり500円の社費の協力をお願いしました。

社資の内容	金額
戸別	7,294,487円
法人	387,438円
個人	10,000円
その他	26,117円
合計	7,718,042円

救護要員・赤十字講習会の講師派遣

市内のさまざまなイベントの開催に際し、日本赤十字社三重県支部より救護要員の派遣を5回、赤十字講習会の講師派遣を4回、救急箱貸出を4回行いました。

災害救援物資の支給状況

12月26日の住宅全焼(美旗地内)につき、緊急セット1個と毛布3枚を贈りました。

善意銀行事業

1. 名張市善意銀行の管理運営

今年度改正した「名張市善意銀行の設置及び管理運営規程」に基づき、市民への善意啓発と社会福祉の増進を目的として名張市善意銀行を運営し、市民や法人等から善意の寄附を受け、必要とされる人への配分を行いました。

善意銀行運営委員会の開催

開催日：3月21日(木)

- 議 題
1. 平成24年度寄附状況について
 2. 平成24年度配分状況について
 3. 平成25年度事業計画について

寄附受入れの実績

種 別	件 数	金 額・内 容
現金の寄附	36件	1,504,363円
物品の寄附	3件	子ども用車いす1台
		車いす2台
		毛布等23枚

寄附いただいた車いすは、車いす一時貸出事業に活用、毛布等は市内の福祉施設等に提供しました。

配分状況

配分事業	配分金額	備考
罹災者救援要綱に基づく見舞金事業	60,000円	住宅全焼3件
車いす一時貸出事業	96,750円	車いす修理、消毒等
指定配分	5,000円	名張養護学園への指定寄附
計	161,750円	

車いす一時貸出事業は、のべ152件の利用がありました。

総合福祉センター管理運営事業

1. 適正な運営管理

貸館・その他のサービス

公益事業として、また市指定管理事業として総合福祉センターふれあい事業の経営を行いました。社会福祉法人としての専門性を活かし、また民間事業者として市民サービスの向上と効果的・効率的な経営を図るよう努めました。

ア．会議室・ホール利用件数： 1,980件（前年比187件増）
利用者数： 38,867名（前年比2,343名減）

イ．利用料収入の内訳

内 訳	金 額
会議室・ホール	3,886,175 円
駐車場	279,550 円
コピー・印刷代	357,352 円
合 計	4,523,077 円

(前年比 89,857 円増)

安全管理体制の充実

施設、設備の老朽化による機器の故障や施設の汚損が多くなってきたため、危険度や重要度を考慮し、市と協議しながら優先順位をつけて順次、補修等を行いました。また、市担当室に「老朽設備等不具合状況報告書」を提出し、施設の管理・改修について提案しました。

・主な修繕実施箇所

ホール舞台上吊り下げ設備の修繕	駐車場管制装置の一部修繕
ガスヒートポンプエアコン室外機、室内機取替	等

環境美化活動

ア．総合福祉センター利用登録団体による奉仕作業

ふれあい内の清掃及び周辺の除草作業を行いました。

実施日時	5月23日(水)16:30～17:30(雨天により順延)
参加者数	26名/17団体(全43団体)

イ．ふれあい内各事業所職員による奉仕作業

年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道等の落ち葉掃きを行いました。(延べ14回)

防災訓練の実施

ふれあい内での火災発生を想定し、ふれあい内各事業所職員を対象に避難訓練を実施しました。

実施日時	10月31日(水)13:30～15:15	2月20日(水)13:30～15:15
訓練内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通報訓練(消防署・館内) ・避難誘導訓練 ・消火設備機器の取扱い訓練 ・担架使用方法の勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> ・通報訓練(館内) ・避難誘導訓練 ・消火設備機器の取扱い訓練 ・消防計画の勉強会
参加職員	社協、名張連絡所、名張市シルバー人材センター、ハローワークプラザ名張、家庭児童相談室	

「ご意見箱」の設置

利用者ニーズの把握と事業企画への積極的な反映を目的として、ふれあい1階に「ご意見箱」を設置しました。